

くらしのパートナー

～「電子渡航認証」 申請代行サイトのトラブルに注意!～

事 例 海外に行くため電子渡航認証をしようとスマートフォンで検索し、1番上に表示されたサイトにアクセスして家族の分と合わせ2名分の申請を申し込み、クレジットカード一括払いで決済した。後日、クレジットカードの明細を確認すると約5万円が請求されており、本来の申請料よりはるかに高額だった。1番上に表示されていたから公式サイトと思ったが、申し込んだのは政府機関ではなく民間の申請代行サイトだった。メールでキャンセルを申し出たら「手続きは完了している」と断られた。詐欺だ。全額返してほしい。

アメリカの ESTA やイギリスの ETA など、事前に電子渡航認証が必要な国が増え、「公式サイトのもりで申し込んだら高額な手数料を請求された」という相談が多く寄せられています。トラブルの要因の1つとして、**ネット検索で上位に表示された「申請代行サイト」を政府機関の公式サイトと誤認**してしまう点があります。また、事例のように高額な「代行手数料」が発生していることを認識しないまま申し込んでいます。キャンセルポリシーによっては申請手続き開始前や解約料を払ってキャンセルすることが可能な場合があるのでよく確認しましょう。しかし**既に認証を受けサービスが完了した場合、キャンセルすることは非常に困難**です。サイト上に申請代行サイトであることが明確に記載されていれば詐欺とは言えません。

トラブルを防ぐためには、**まず表示されたサイトが政府の公式サイトか、ドメイン(米国なら .gov) を必ず確認**しましょう。また、安易に入力を進めず、申し込み前に利用規約等をよく読んで申請代行サイトであるか否かを確認することが重要です。決済直前の最終確認画面では、契約内容や支払総額、キャンセルポリシーを念入りにチェックし、**証拠として必ず画面の画像を保存(スクリーンショット)**しましょう。この事例に限らず、検索画面に表示されたものが公式サイトであるか常に確認しましょう。

とらの子{マモルくん}
申請代行サービストラブルに注意!!



イラスト: まつなげ せい

日常生活に役立つ

認証ラベル(サステナブル・ラベル)ガイド

一般社団法人 サステナブル・ライフスタイル協会 代表理事 山口真奈美

私たちが日々手にする食品や日用品。その一つひとつには、どのようにつくられ、誰が関わり、どのような想いで私たちのもとへ届いたのか、それぞれにストーリー（物語）があります。私たち一人ひとりに、生まれ育った環境や人生の物語があるように、商品にもまた、さまざまな背景があります。

近年、酷暑や気候変動、生物多様性の損失など、環境や社会の変化を身近に感じる機会が増えています。これまで当たり前食卓に並んでいた農産物や水産物も、「この先も変わらず手に入るのだろうか」と考えることがあるかもしれません。

そんな中、私たちにもできることがあります。毎日の暮らしの中で商品を選ぶことも、その一つです。そのヒントとなるのが、「認証ラベル（サステナブル・ラベル）」です。



サステナブル認証（サステナブル・ラベル）とは？

スーパーや街中で買い物をするとき、商品に付いている小さなマークを見かけたことはありませんか。「有機 JAS」「フェアトレード」「FSC®」など、さまざまな認証ラベルがありますが、「見たことはあるけれど、違いはよく分からない」という方も多いでしょう。

認証ラベルとは、環境への配慮や人権、資源の持続可能な利用などについて、一定の基準を満たしていることを第三者機関が確認した商品に付けられるマークです。企業が自ら環境に良い、サステナブルだと伝えるだけでなく、外部の専門機関が基準に基づいて審査・認証していることから、消費者が商品を選ぶ際の信頼できる目安となっています。もちろん、認証ラベルが付いている商品だけが良い商品というわけではありませんが、商品の背景を知る手がかりとして役立ちます。



身近な認証ラベルを知ろう

日常生活で見かける代表的な認証ラベルには、次のようなものがあります。

有機 JAS 認証

農薬や化学肥料などの使用をできるだけ抑えた方法で生産された農産物や食品に付けられます。



国際フェアトレード認証

生産者と適正な価格で取引することや、児童労働の防止、働く人の権利などに配慮した商品に付けられます。コーヒーやチョコレートなどで見かけます。



FSC® 認証

適切に管理された森林や FSC が適格だと認めるリサイクル原材料 or リスクの低い原材料から生産された木材や紙製品の認証です。ノートやティッシュ、家具など身近な製品にも使われています。



MSC 認証・ASC 認証

MSCは持続可能な漁業で獲られた水産物、ASCは環境や地域社会に配慮した養殖によって生産された水産物の目印です。



レインフォレスト・アライアンス認証

森林や生物多様性を守りながら、生産者の暮らしにも配慮して生産された農産物の認証です。カエルのマークが目印で、コーヒーや紅茶、バナナなどで見かけます。



認証ラベルは未来への一票

認証ラベルにはさまざまな種類がありますが、まずは買い物の際に、「このマークは何だろう?」と少し目を向けてみることから始めてみるのはいかがでしょうか。そして、私たち一人の選択は小さく感じるかもしれませんが、多くの人が環境や社会に配慮した商品を選ぶようになることで、生産者や企業の取り組みを後押しし、より持続可能な社会づくりにつながっていきます。

一方で、認証ラベルがなくても、地域で丁寧につくられた商品や、長く大切に使える製品など、素晴らしいものはたくさんあります。認証ラベルは、「どのようなストーリーを持つ商品なのか」を知るための一つの道しるべとして活用するとよいでしょう。

今日からできること

買い物のときに、商品に付いている認証ラベルを少し意識して見てみませんか。

その小さな気づきが、持続可能な暮らし(サステナブル・ライフスタイル)への第一歩になります。毎日の選択は、自分や家族だけでなく、生産者や地域、そして未来の地球へとつながっています。

無理なく、楽しく、自分らしく。認証ラベルを暮らしのヒントとして取り入れながら、一つひとつの選択を積み重ねていくことが、今日も未来も心地よく暮らせる社会につながっていくのではないのでしょうか。

笑って学ぼう!

消費生活出前寄席



近年増えている、悪質商法や消費者被害など、
トラブルを未然に防げるように落語や漫才で分かりやすくお伝えします!

第1回

- 日 時 令和8年10月3日(土) 午後2時から3時まで
- 場 所 湯島地域活動センター1階 洋室 A
- 対 象 区内在住・在勤・在学の方
- 定 員 36人(抽選)
- 費 用 無料
- 講 師 三遊亭 仁馬 氏

- 申込方法 区ホームページまたは往復はがきで申込
往復はがきの場合は、氏名・住所・電話番号・年齢を明記のうえ下記問合せ先へ
(郵便はがき(85円)を窓口を持参でも可)
- 申込期間 9月1日(火)から9月15日(火)まで(郵送は9月15日(火)必着)



第2回

- 日 時 令和8年10月24日(土) 午後2時から3時まで
- 場 所 大塚地域活動センター2階 多目的室 B
- 対 象 区内在住・在勤・在学の方
- 定 員 40人(抽選)
- 費 用 無料
- 講 師 ピン芸人 かける 氏・惑星カッポ

- 申込方法 区ホームページまたは往復はがきで申込
往復はがきの場合は、氏名・住所・電話番号・年齢を明記のうえ下記問合せ先へ
(郵便はがき(85円)を窓口を持参でも可)
- 申込期間 9月18日(金)から10月4日(日)まで(郵送は10月2日(金)必着)



問合せ先

文京区消費生活センター
〒112-8555 文京区春日1-16-21 文京シビックセンター地下2階
電話 03-5803-1105 平日8:30~17:00

詳細はこちらから▶



文京区消費生活センター

〒112-8555
東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター地下2階
TEL 03-5803-1105 / FAX 03-5803-1936
相談専用 TEL 03-5803-1106
受付時間 9:30~16:00(月~金 ※祝日・年末年始を除く)

文京シビックセンター 最寄駅

- 地下鉄
東京メトロ丸ノ内線・南北線
⇒後樂園 下車
都営三田線・大江戸線
⇒春日 下車
- 都営バス
⇒春日駅前 下車
- 文京区コミュニティバスB-ぐる
⇒文京シビックセンター下車

